

# 議題1 山田緑地、30世紀の森にむけての森づくりのあり方

## I 森のあり方

山田緑地のテーマである「30世紀の森づくり」を具体化するため、つくりだす森のイメージ、管理方針を定める。

名称	原初の森	巨木の森	くらしの森
目標	自然遷移に委ねた、原生林化を目指す。	山田緑地のシンボルとなる巨木を育成する。	人の営みと自然の関係を伝え残す森として維持する。
場所	保護区域	保全区域の一部	利用区域の一部
管理方針	自然遷移に委ねる。	遷移を維持管理により促進し、早期に巨木を育成する。	薪炭林として維持管理する。
計画単位	1000年	100年	10年
管理方法	植生を制御する管理は行わない。	対象木を選定し、間伐等の育成管理を行う。	10区画程度を選定し、10年毎に順次伐採を繰り返す。

## II 森づくりの副産物の活用

### ① 間伐材

活用方法		難易度	
薪	薪ストーブや焚き火	易	特殊な技術は不要
ほだ木	しいたけづくり	↓	長期的な管理が必要
木工	小物、チェーンソーアート等		建築土木技術が必要
施設整備	カントリーヘッジ、小屋等		炭焼き施設、技術が必要
炭		難	

→薪としての活用はしきいが低く、より多くの方が気軽に参画できる。

### ② 刈り草、落葉

活用方法		難易度	
腐葉土	肥料	易	特殊な技術は不要
草木灰	肥料	易	特殊な技術は不要

→腐葉土や草木灰づくりの過程で落葉を堆積した遊び場、生き物のすみかづくり、落葉焚きなどの活用ができる。

